

平成 24 年 10 月 25 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都渋谷区恵比寿四丁目 1 番 18 号
 恵比寿ネオナート
 ジャパン・ホテル・リート投資法人
 代表者名 執行役員 伊佐 幸夫
 (コード番号:8985)

資産運用会社名
 ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 博之
 問合せ先 管理本部 経理部長 板橋 昇
 TEL : 03-6422-0530

2012 年 9 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2012 年 9 月度におけるホテルの運営状況につき、月次売上高並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。

本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目		9月度	対前年同月 増減(注7)	累計(注8)	対前年累計増減 (注9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	86.2%	3.2%	78.5%	4.1%
	ADR (円)	13,916	-911	13,831	-461
	RevPAR (円)	11,991	-312	10,853	226
	売上高 (百万円)	440	-16	3,904	-56
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	97.9%	-0.9%	93.2%	21.4%
	ADR (円)	15,971	-408	16,903	1,672
	RevPAR (円)	15,631	-543	15,756	4,824
	売上高 (百万円)	509	-7	4,899	1,109
なんばオリエンタルホテル	稼働率	89.0%	5.8%	86.1%	-1.8%
	ADR (円)	9,634	-42	9,874	-386
	RevPAR (円)	8,578	522	8,502	-519
	売上高 (百万円)	151	9	1,367	-66
ホテル日航アリビラ	稼働率	81.6%	-3.6%	73.9%	0.6%
	ADR (円)	24,982	-633	27,272	336
	RevPAR (円)	20,375	-1,441	20,166	416
	売上高 (百万円)	430	-34	4,034	82
オリエンタルホテル広島	稼働率	71.3%	-5.3%	70.5%	6.9%
	ADR (円)	8,187	-77	8,186	-339
	RevPAR (円)	5,840	-493	5,774	349
	売上高 (百万円)	176	29	1,514	180
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,707	-20	15,719	1,249

ホテル／項目		9月度	対前月増減 (注10)	累計(注8)	対前年累計増減 (注9)
イビス東京新宿(※)	稼働率	73.5%	-11.0%		
	ADR (円)	9,359	48		
	RevPAR (円)	6,878	-985		
	売上高 (百万円)	46	-9		

※イビス東京新宿の売上高はテナント賃料を除くホテル部分のみの売上です。また、前賃借人から営業数値について開示の承諾を得られなかったため、対前年同月増減、累計並びに対前年累計増減はございません。

9月度の実績に関するジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、柔軟な価格政策を実施したことにより、稼働率は前年同月を上回ったものの、ADRが前年同月を下回ったため、売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、婚礼宴会件数の増加により婚礼売上が前年同月を上回ったものの、前年同月に大型学会があったため、一般宴会売上は前年同月を下回り、部門全体の売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約16百万円下回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイについて

宿泊部門では、前年同月は震災の影響により延期されていた修学旅行需要の取り込み分が含まれているといった特殊要因があったこと等が影響し、売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、レストラン売上は前年同月を上回ったものの、婚礼売上が前年同月を下回ったため、売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約7百万円下回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、レジャー客の集客に注力し、稼働率は前年同月を上回ったため、売上は前年同月を上回りました。テナント部門では、一部テナントの賃料が減少してはいるものの、ホテルの総売上は前年同月を約9百万円上回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、当月に発生した台風の影響により稼働率及びADRが前年同月を下回ったため、売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、レストラン売上が宿泊稼働の減少に伴い前年同月を下回ったため、部門全体の売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約34百万円下回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、価格訴求商品を積極的に販売して集客を図ったものの、前年同月は近隣商業施設の開業準備のための宿泊需要の取り込み分が含まれているため、売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、婚礼売上が前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約29百万円上回りました。

イビス東京新宿について

宿泊部門では、改装工事に伴う売り止め客室数が増加したため、稼働率が前月を下回り、ホテル総売上は前月を約9百万円下回りました。

注 1) 上記のコメントは資産運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、資産運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、有価証券報告書に記載される

各月の売上と相違する場合があります。

- 注 3) 稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。
- 注 4) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。なお、イビス東京新宿はサービス料はありません。
- 注 5) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 6) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- 注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- 注 8) 累計とは期首（1月）から当該月までの累計値を記載しています。
- 注 9) 対前年累計増減とは、期首（1月）から当該月までの累計値と前年同期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。
- 注 10) 対前月増減とは当該月と前月との増減を記載しています。

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.co.jp/>